

# 障がい福祉サービス事業所の農業技術センター見学会

- 1 日時 平成23年12月14日 13:30~15:40
- 2 参加者 福祉施設関係12事業所 21名、農業経営課、障がい福祉課
- 3 開催趣旨
  - ①県では農福連携に取り組み始めた。アンケートから農業に取り組む施設が多い事がわかった
  - ②当センターでは、心の医療センター、県立大学と共同研究で、花の効用を探る研究から始めたところ
  - ③まずは当センターを知ってもらうことから始め現場からの研究ニーズを把握しながら研究を進めたい
- 4 実施概要



花き振興棟 大会議室にて開会

所長あいさつ  
開催趣旨に合わせパンフレットでセンター概要説明



野菜グループ  
野菜ほ場の概要とトロ箱栽培説明  
参加者の関心は高く、早々に導入相談があった



枝豆栽培の説明  
露地品目として紹介  
赤名黒姫丸や味の良い品種の組合せで  
露地品目として魅力あり  
収益性の質問、収穫適期と作業能力のバランス  
を懸念する意見もあった



特産開発グループ  
あすっこ栽培の説明  
軽量、簡単、冬季の換金作物として関心を示された。  
収穫長さの目印を使っても作業ができるかと導入を心配する声もあった



土壌環境グループ イチジクBOX栽培の説明  
ハウスの必要性、植栽可能年数、仕立て方、収益性などの質問があるも関心は高そうだった



果樹グループのほ場  
や研究概要を紹介

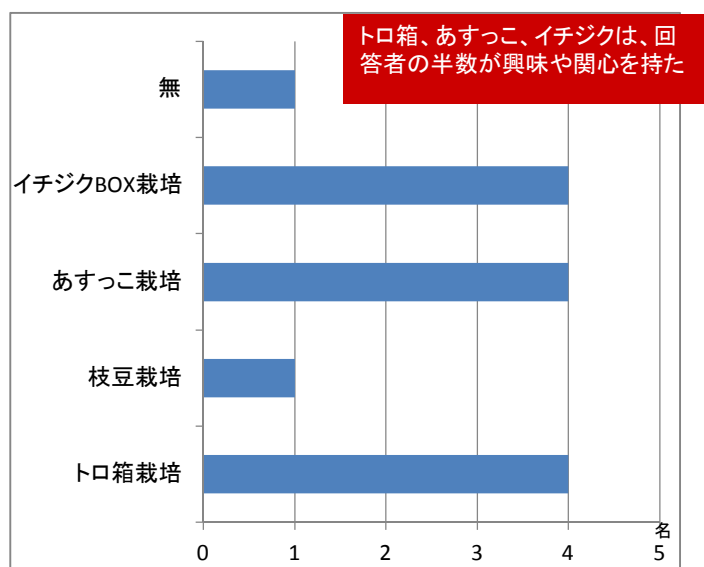


閉会后、希望者にシクラメン  
栽培の説明を行う

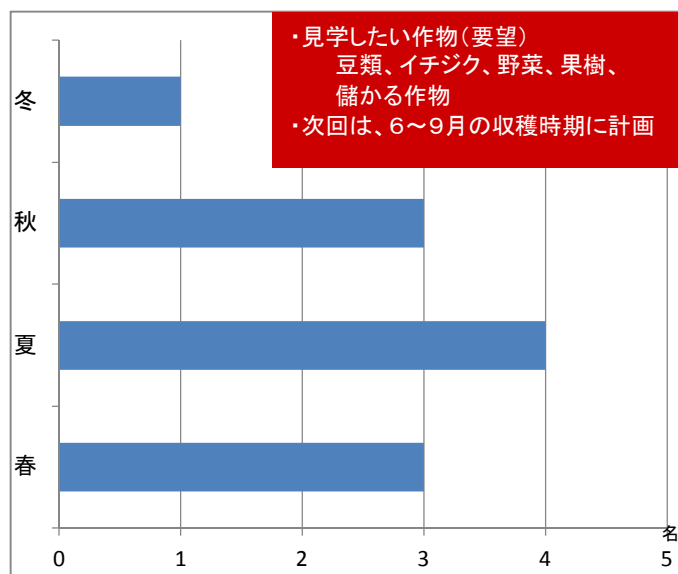
5 参加者アンケート結果 (H23.12.28集計)

☆ 回答 7施設/12施設 58% (参加者 8名/21名)

(1) 興味や関心をもった内容(複数回答可)



(2) 見学会開催の希望時期(複数回答可)



(3) 質問、要望

施設における農業分野への取り組み事例等があったら参考になる
利用者の能力に合わせた作物選定や作業割り振りに苦労している。職員の負担軽減のためある程度の機械化は必要だが、利用者の仕事を作ることとのバランスが難しい。技術センターには定期的な技術指導をお願いしたい。
農業に関する相談窓口は設置されていますか？今後取り組む農業の中で相談させていただきたい。
いつでもわからないことがあれば電話で質問していいですか？
荒地から畑に戻したばかりで土ができていないためか品種特性どおりに生育しない。中長ナスはずんぐりした果形で種がすぐできてしまった。野菜ではどのような品種が良いかアドバイスをいただきたい。
①枝豆、あすっこのアールあたり収穫量と収益、経費は？ ②夏季の作業が心配なので除草作業の省力対策は？ ③来年度取り組みたいと思いますが素人ばかりなため初歩から指導や助言をいただきたい。まずは、現地を見て助言をして欲しい。

(4) 感想

今回は収穫時期が外れたこともあり、どの程度収穫できるかイメージできなかつた。収穫時期であれば他の取り組みも見れたと思います。
①トロ箱でのトマト栽培、イチジクBOX栽培について、水稻育苗後とか土壌改良の面で参考になった。ただし、比較的導入が容易と思われるものを多数が取り組んだ場合、販路面で採算割れにならないか心配される。 ②工賃向上には収益があり労働対価が得られない事には取り組めないと感じた。 ③製薬会社と契約した薬草栽培とか価格面で安定したもの、生育が遅くて日々の管理に息切れしない種目の検討や指導を希望する。
トロ箱栽培はハウス内がきれいなので土壌病害が出にくいことで興味深く拝見しました。
今後も障がい者就農に関する研修を企画して欲しい
大変意義のある見学会でした。実際の現場を見るとよくわかるし関心も高くなりました。また、親切に詳しく説明していただきありがとうございました。